

湛水直播管理情報（第3号）

～ 湛水表面直播（鉄コーティング）～

令和2年6月5日
アルプス農協管内農業技術者協議会

今年の鉄コーティング直播の苗立本数は、圃場間での差が目立ちますが、平年並みとなっています。

今後は急激に茎数が増加しますので、生育状況を確認し、必ず溝掘りを行い、適期に中干しを開始しましょう。

また、「葉いもち防除」は遅れず、実施しましょう。

コシヒカリ直播生育調査結果(アルプス平均)			5月28日現在			
直播の区分	年度	播種日	苗立本数 (本/m ²)	草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	葉齢 (葉)
鉄コ直播	R2	5/5	69.8	13.3	78.1	3.4
	R元	5/5	57.4	14.6	80.6	4.0
	近年値(※)	5/3	66.4	15.1	79.1	3.4

※近年値：H26～R1

1. 水管理 ～溝掘り・中干しは適期に必ず行う～

(1) 溝掘り

○水管理をスムーズにし、中干しを効果的に行うため、中干し前に「溝掘り」を行いましょう。

○溝は、圃場の周囲に加え、5m（15条）に1本を目安に設置しましょう。

(2) 中干し・・・稲体と根の健全化を図るために、適期に「中干し」を開始しましょう。

○中干しの開始時期

播種時期	中干し開始時期の目安	
4月下旬～ 5月上旬	茎数310本/m ² (1m間の茎数が95本程度)	6月9日頃



中干しの終了は、圃場中央部でくるぶしが軽く沈む程度を目安とする。

○中干しの程度：土の表面に小さなヒビ割れができる程度に干しましょう（3～5日間落水）。

（※極端に強く干しすぎると、穂数不足や除草効果の低下につながるの注意して下さい。）

○中干し後の水管理：中干し後から幼穂形成期まで間断かん水を、幼穂形成期から出穂期まで飽水管理を行いましょう。

（詳細は、営農情報を参考にして下さい。）

2. 病害虫防除 ～葉いもちの予防～

直播は移植と違い箱施薬剤を散布していないので、病害虫の予防は確実にいきましょう。

（※ルーチンFSの種子塗抹処理、箱施薬剤の播種時土中処理を行っている場合は除く）

薬剤名	対象病害虫	散布量	散布時期	使用上の注意点
オリゼメート1キロ粒剤	いもち病	1kg/10a	6月15日～20日	・田に水をためて散布し、散布後5日間は湛水状態を保ち、散布後7日間は落水しない。 ・湛水状態で散布する除草剤との併用は可能。
パダンオリゼメート粒剤	いもち病 ニカメイチュウ	3kg/10a		

3. 雑草防除 ～後期除草剤の散布～

雑草が残っている圃場では、雑草の種類や使用時期を確認し、後期除草剤を適期に散布しましょう。

適用雑草の種類	除草剤名	使用時期	10aあたり使用量	使用上の注意点※
ノビエ	クリンチャー 1キロ粒剤	播種後25日以降 ノビエ4葉期まで (ただし、収穫30日前まで)	1.5kg	・効果を高めるため、5cm程度の湛水状態で散布し、散布後5日間は湛水状態を保つ。 ・散布後に降雨が多いと予想される場合は、使用をさける。
	クリンチャーEW	播種後10日以降 ノビエ5葉期まで (ただし、収穫30日前まで)	100ml 希釈水量 25～100ℓ	・落水状態でノビエの茎葉に確実に付着するように散布する。 ・晴天日を選んで散布する。 ・展着剤を加用する。
	トドメMF 1キロ粒剤	稲3.5葉期～ ノビエ4葉期まで (ただし、収穫50日前まで)	1kg	・効果を高めるため5cm程度の湛水状態で散布する。
	トドメMF乳剤	播種後10日以降 ノビエ6葉期まで (ただし、収穫50日前まで)	200ml 希釈水量 100ℓ	・湛水状態で散布するときは湛水のまま均一に雑草茎葉散布又は全面散布し、少なくとも3～4日間湛水状態を保つ。 ・展着剤は不要。
ノビエ、マツバイ、 ホタルイ等	クリンチャーバス ME液剤	播種後10日以降 ノビエ5葉期まで (ただし、収穫50日前まで)	1000ml 希釈水量 70～100ℓ	・落水状態で雑草の茎葉に確実に付着するように丁寧に散布し、散布後3～4日間は入水、落水をしない。 ・晴天日を選んで散布する。展着剤は加用しない。
ノビエ、マツバイ、 ホタルイ等	アクシズMX 1キロ粒剤	稲2葉期～ ノビエ4葉期まで (ただし、収穫45日前まで)	1kg	・5cm以上の深水で散布し、散布後5日間は湛水状態を保つ。 ・散布後に降雨が多いと予想される場合は、使用をさける。 ・水持ちの悪い水田、畦畔から漏水が多い水田は使用を避ける。
マツバイ、ホタルイ、 ウリカワ、オモダカ、 ミズガヤツリ等	バサグラン液剤	播種後35～50日 (ただし、収穫50日前まで)	500～700ml 希釈水量 70～100ℓ	・落水状態で散布し、散布後3～4日間は入水、落水をしない。 ・多年生雑草が局部的に発生している場合、スポット処理する。 ・晴天日を選んで散布する。
ノビエ、マツバイ、 ホタルイ等	テッケン 1キロ粒剤	稲4葉期～ ノビエ4葉期まで (ただし、収穫60日前まで)	1kg	・稲4葉期以前の使用は避ける。 ・効果を高めるため、5cm程度の湛水状態で散布し、散布後5日間は湛水状態を保つ。 ・散布後に降雨が多いと予想される場合は、使用をさける。

※ 除草剤を使用する際は、散布上の注意点を守りましょう。